

01 総 説

1. 沿 革
2. 概 要
3. 市 域 の 変 遷
4. 市 庁 舎 概 要
5. 人 口

1. 沿 革

多治見市は、岐阜県の南南東にあたり、東経 137 度 8 分、北緯 35 度 20 分に位置し、名古屋から北東に 36 キロ、J R 中央本線、太多線など東濃の交通拠点であり、国道 19 号線、248 号線、さら市北部に中央自動車道が東西に走り、東濃地方の産業、経済、文化の中心地であるとともに中部経済圏の一翼を担う重要な位置にあります。

ヤマト王権が成立してから、尾張との交通が比較的容易であったところからその勢力圏内に含まれ開拓が進み、奈良、平安時代より陶器産国として知られ、釉薬、焼成、技法の上にも一大進歩を遂げ、日本陶業の中心地となりました。

美濃は醍醐天皇の延喜式には陶器調貢の国と定められていますが、鎌倉時代からは美濃源氏土岐氏の所領として知られ、南北朝時代の忠臣多治見国長公は太平記にも有名です。

桃山茶陶時代を経て江戸時代からは、陶磁器産業としての発展がめざましく、独自の陶都が形成されてきました。

明治 22 年に町制施行、昭和 15 年に市制を施行、隣接町村を合併して現在に至っています。

西暦	年 号	主 な で き ご と
1865	慶応元年	旗本の領地を廃して笠松県に属する。
1871	明治 4 年	廃藩置県により尾州領は名古屋県、幕領は笠松県に属し、のち一円岐阜県となる。
1880	明治13年	初めて多治見橋が架かる。
1884	明治17年	市之倉村を合併。
1889	明治22年	多治見村に町制施行。 多治見分署が警察署に昇格する。
1896	明治29年	市之倉村を分村する。
1899	明治32年	豊岡村に町制施行。
1900	明治33年	中央線 名古屋～多治見間が開通する。1日4回運転。
1902	明治35年	虎溪用水が開削される。
1906	明治39年	電灯所が開業され、最初の電灯がつく。 屠場が開設される。
1911	明治44年	中央線全通、鉄道による陶磁器輸送がさかんになる。
1913	大正 2 年	土岐郡立陶器工業学校が当町に移転開校する。 木管を利用した簡易水道が奥川を水源として小路町、錦町、三笠町に引かれる。
1914	大正 3 年	小泉村耕地整理が施行される。
1921	大正10年	坂上地区に上下水道が敷設される。
1923	大正12年	多治見高等女学校が開校する。
1924	大正13年	岐阜県陶磁器試験場が開設される。
1925	大正14年	多治見幼稚園が開園する。 豊岡町耕地整理が施行される。
1927	昭和 2 年	昭和橋、記念橋が完成する。

西暦	年号	主なできごと
1928	昭和3年	豊岡小学校内に豊岡幼稚園が設立される。 太多線、笠原線が開通する。
1929	昭和4年	豊岡町立豊岡実践女学校が開校する。
1930	昭和5年	多治見尋常高等学校（養正小）が現地に建設される。4,991㎡ 神言修道院が開院される。 省営バス岡多線、多治見～岡崎間が開通する。
1934	昭和9年	豊岡町及び泉町の一部を合併。
1936	昭和11年	多治見橋が完成する。
1938	昭和13年	県立多治見病院が設置される。
1940	昭和15年	市制が施行される。面積35.14km ² 人口26,820人 多治見市広報第1号が発行される。
1941	昭和16年	新設小学校 昭和国民学校が開校する。 第1回市民体育大会が開催される。（以後33年まで開催）
1943	昭和18年	第1回市美術展が開かれる。
1944	昭和19年	小泉村及び池田町村（24.37km ² ）を合併。
1945	昭和20年	防火帯設置のため市内建物千余戸を強制除去する。 市街地の町名地番改訂が実施される。
1946	昭和21年	多治見商工会議所が創立される。 多治見市図書館が開館する。（多治見実践女学校内）
1947	昭和22年	多治見簡易裁判所、検察庁が設置される。
1948	昭和23年	健康保険多治見市民病院が開設される。 多治見市警察署が設置される。 学制改革により高等学校を統合再配置し2校となる。 岐阜県立多治見工業高等学校 岐阜県立多治見高等学校（多高、女子高、市立女子高が合同） 平野、湊南、共栄中学校統合により陶都中学校が設立される。 （現 多治見北高校地）
1949	昭和24年	多治見～名古屋即時通話が開通する。 多治見市消防本部が発足する。 多治見スタジアムが開設される。
1950	昭和25年	愛岐道路が着工される。 養老院が開設される。 市役所庁舎が竣工する。
1951	昭和26年	土岐郡市之倉村（5.70km ² ）と笠原町（19.72km ² ）を合併し、人口51,690人となる。 上絵付研究所が開かれる。

西暦	年 号	主 な で き ご と
1951	昭和26年	火葬場が新設される。(北市場)
1952	昭和27年	市の区域の一部分離により笠原町 (15.52km ²) が発足する。 上下水道改良工事着工。市街地全域に水道給水計画、計画人口40,000人。 古虎溪駅が開設される。 多治見市警察署が廃庁される。 太多線根本駅が開設される。
1953	昭和28年	健康保険多治見市民病院が市営に移管される。 美濃焼大見本市が開催される。 多治見商工会議所内に古陶器陳列館が完成する。 南ヶ丘中学校校舎が完成する。
1954	昭和29年	町内会が発足、区長会組織が結成される。
1955	昭和30年	荒川豊蔵氏重要無形文化財 (人間国宝) に指定される。 川北地域への水道給水が開始される。
1956	昭和31年	岐阜県自動車学校多治見分校が開校する。 市之倉小学校が完成する。 養正小学校附属幼稚園が開園する。 小泉保育園が完成する。
1957	昭和32年	多治見市初の鉄筋コンクリート校舎 滝呂小学校が完成する。 全国初の有料道路として愛岐道路が開通する。 未曾有の集中大豪雨。被害総額 4 億4,700万円 陶都中学校を分離し、多治見中学校が発足する。
1958	昭和33年	市之倉中学校を廃し南ヶ丘中学校に統合する。 多治見北高校が開校する。 陶都中学校校舎が完成する。
1959	昭和34年	養老施設多容荘が完成する。 伊勢湾台風襲来。被害 壊れた家980戸 浸水家屋57戸 陶磁器意匠研究所が市に移管される。
1960	昭和35年	国長橋が完成する。 多治見女子高校が開校する。(多高改称) 姫治村の一部 (11.42km ²) を合併する。 消防音楽隊が設置される。
1961	昭和36年	南姫出張所が完成する。 第1次町名地番の変更事務が完了する。
1962	昭和37年	東濃3市1町で「安全都市共同宣言」を行う。 市民センターが完成する。

西暦	年号	主なできごと
1962	昭和37年	第2次町名地番の変更事務が完了する。 米国テラホート市と姉妹都市となる。 市民憲章が制定される。 共栄簡易水道の給水が開始される。
1963	昭和38年	中央線 春日井～中津川間複線工事が始まる。
1964	昭和39年	多治見駅の新駅舎が完成する。 多治見市民体育館が完成する。
1965	昭和40年	多治見市の人口6万人を突破する。 多治見駅広場が完成する。 第20回岐阜国体が開催される。野球、ボクシングの主会場となる。 坂上児童館が完成する。
1966	昭和41年	青少年健全育成推進協議会が誕生し、「青少年育成都市宣言」を行う。 中央線複線電化が開通する。名古屋～瑞浪間50.1km 陶磁器意匠研究所新館が完成する。 墓地公園、都市下水道が着工される。
1967	昭和42年	南姫診療所が開設される。 交通災害共済制度が発足する。
1968	昭和43年	都市計画法の規定により用途地域の指定が行われる。1,269.7ha 勤労青少年ホームが完成する。 平和霊園造成、墓地公園が完成する。 第2次水道拡張工事が着工される。 多治見市総合開発計画（第1次）が策定される。
1969	昭和44年	陶都大橋が完成する。 市民プールが完成する。 市陸上競技場が完成する。 公共下水道事業が着工される。処理区域150.8ha 美坂保育園が開園する。
1970	昭和45年	精華小学校附属幼稚園が設立される。 市役所南分庁舎が焼失する。
1971	昭和46年	国道19号線多治見バイパス工事が完成する。 滝呂保育園が完成する。 荒川豊蔵氏文化勲章を受章する。 北消防署が完成する。 駅前防災建築街区造成事業（駅前ビル）が完成する。
1972	昭和47年	東濃西部地域広域市町村圏計画が策定される。

西暦	年号	主なできごと
1972	昭和47年	昭和小学校附属幼稚園が開園する。 学校給食センター（高根）が完成する。 土合橋が完成する。 中央自動車道 小牧～多治見間が開通する。 大畑センター（不燃性廃棄物埋立処理場）が開設される。
1973	昭和48年	ソ連青年が友好使節として来市。 北野保育園が完成する。 広域組合の粗大ごみ処理施設が完成する。 多治見市第2次総合開発計画が策定される。 東濃用水道より受水開始。受水・送配水施設を整備する。
1974	昭和49年	新市庁舎が完成する。 市民病院移転改築が完成する。 公共下水道、池田下水道処理場通水する。（雨水） 旭ヶ丘保育園が開園する。 土岐川が一級直轄河川に昇格する。
1975	昭和50年	広域行政による老人休養ホーム「三国山荘」が完成する。 社会教育センターが開設される。 4月1日に根本小学校が開校し、8月7日に新校舎へ移転する。
1976	昭和51年	市之倉保育園が開園する。 多治見郵便局移転改築が完成する。 多治見市の人口7万人を突破する。 多治見市西部地区農免道路が完成する。 多治見市史（窯業史料編、在地資料編）が刊行される。 第1回美濃焼ハワイ展ハワイ州にて開催される。（51年度～59年度）
1977	昭和52年	公共下水道が供用開始される。処理区域79.0ha 市営豊岡駐車場が完成する。 養護老人ホーム「多容荘」移転改築が完成する。 図書館移転改築が完成する。 明和幼稚園が開園する。 名工大窯業研究施設が完成する。
1978	昭和53年	多治見駅歩道橋が完成する。 学校給食センター大畑調理場が完成する。 印鑑登録制度が実施される。（カード式に変更）
1979	昭和54年	共栄診療所移転改築が完成する。

西暦	年号	主なできごと
1979	昭和54年	北陵中学校が小泉中学校から分離し、開校する。 多治見市議会一般質問がテレビ中継される。(岐阜テレビ) 旭ヶ丘運動公園及び弓道場が完成する。 市営音羽駐車場及び駅前駐車場がオープンする。
1980	昭和55年	第2次東濃西部地域新広域市町圏計画が策定される。 市之倉事務所移転改築が完成する。 多治見女子高等学校が20年ぶりに男女共学となり、多治見高等学校に改称される。 北栄小学校が根本小学校から分離し、開校する。 多治見市史(通史編上巻)が刊行される。 県東濃西部総合庁舎が完成する。
1981	昭和56年	市之倉公民館が完成する。 文化会館が完成する。 第3次総合開発計画が策定される。
1982	昭和57年	保健センターが開設される。 駅前自転車駐車場が完成する。 北丘球場が完成する。 総合射撃場が完成する。 じん芥処理場 三の倉センターが完成する。 市の花“ききょう”市の木“シデコブシ”に決まる。 人口8万人を突破する。
1983	昭和58年	昭和小学校大食堂が完成する。 陶磁器技術開放研究センターが完成する。 共栄調理場が完成する。
1984	昭和59年	共同福祉施設が完成する。 新消防庁舎が完成する。 防災行政同報無線が設置される。(市内90ヵ所)
1985	昭和60年	東濃西部経済懇話会が発足する。 総合体育館が完成する。 急激な円高のため、円高利子補給制度を導入する。
1986	昭和61年	多治見市行政改革大綱が策定される。 シルバー人材センターが開所される。 いじめ問題指導対策室が開設される。 駅前修景事業が完成する。 自転車の放置防止に関する条例が施行される。 国際陶磁器フェスティバル美濃'86が開催される。

西暦	年 号	主 な で き ご と
1986	昭和61年	多治見市が特定不況地域に指定される。
1987	昭和62年	脇之島小学校が昭和小学校から分離し開校する。 議員定数が30名から28名になる。 多治見市史（通史編下巻）が刊行される。 給食用陶磁器食器の試用開始。（昭和小学校） 休日急病診療所が開設される。
1988	昭和63年	岐阜県陶磁資料館が開館する。 南姫中学校が小泉中学校から分離し開校する。 図書館分館が開館する。 深山の森が完成する。 多治見市の人口が9万人を超える。 多治見オーケストラが結成される。 総合福祉センター（サンウェールたじみ）が完成する。
1989	平成元年	多治見労働総合庁舎が完成する。 東町道路が全線開通する。 三の倉市民の里（宿泊研修センター）が完成する。 安土桃山陶磁の里が完成する。 JR多治見駅舎が新装され、アスティーになる。 国際陶磁器フェスティバル美濃'89が開催される。
1990	平成2年	第2・第4土曜日の閉庁が始まる。 旭ヶ丘児童センターが完成する。 養正公民館が完成する。 月見センターが完成する。 第4次総合開発計画が策定される。 市制50周年記念式典が行われる。
1991	平成3年	南姫公民館が完成する。 太平公園が完成する。 脇之島公民館・脇之島事務所・消防団脇之島分団車庫が完成する。 超高温材料研究センター岐阜センターが完成する。 台風19号の影響で被害がでる。 まちづくり市民会議が設置される。
1992	平成4年	国長橋架け替え工事が完成する。 根本児童センターが完成する。 文化財保護センターが完成する。 多治見市文化使節団・代表団テラホート市訪問。

西暦	年 号	主 な で き ご と
1992	平成 4 年	緊急通報システムが導入される。 国際陶磁器フェスティバル美濃' 92が開催される。 駅周辺開発現地事務所が開所する。
1993	平成 5 年	市之倉児童センターが完成する。 双葉保育園が移転新築される。 小泉公民館・小泉事務所が完成する。 多治見市の人口が10万人を突破する。 土曜日完全閉庁となる。 岐阜県みどりの祭りが開かれる。 産業文化センターが完成する。 東京に美濃焼PRセンターが完成する。 テラホート市代表団、多治見市訪問。 全国労働基準関係団体連合会が指定する「ゆとり創造宣言都市」に指定される。 市民病院院外処方箋の制度が発足する。
1994	平成 6 年	脇之島児童センターが完成する。 精華公民館が移転新築される。 国道19号線 内津トンネルが開通する。 たじみ陶生苑が完成する。 鈴木 蔵氏、国重要無形文化財技術保持者（人間国宝）に指定される。 食器洗浄センターが完成する。 宜興市と友好交流意向書の調印式を行う。
1995	平成 7 年	滝呂中央公園が完成する。 消防緊急通信指令装置が導入される。 加藤卓男氏、国重要無形文化財技術保持者（人間国宝）に指定される。 国際陶磁器フェスティバル美濃' 95が開催される。 会期 10/28～11/ 5 入場者数 100,783人 駅前事務所が開設される。
1996	平成 8 年	多治見市・可児市間の緊急時相互融通連絡管が完成する。 総事業費 1億7,700万円 共栄公園が完成する。 総事業費 9億9,400万円 敷地面積 18,000㎡ 高齢者能力開発研修センターが完成する。 総事業費 1億330万円 敷地面積 968㎡ 建築面積 365㎡ サンホーム滝呂が完成する。 総事業費 5億2,730万円 敷地面積 2,501㎡ 建築面積 1,046㎡

西暦	年号	主なできごと
1996	平成8年	星ヶ台競技場が完成する。 総事業費 10億5,800万円
1997	平成9年	多治見都市計画市街化区域及び市街化調整区域の区域区分（線引き）実施。 個人情報保護条例が施行される。 市民病院健診棟が完成する。 総事業費 4億2,880万円 延床面積 712㎡ 文化振興事業団が設立される。 まなびパークたじみが完成する。 総事業費 39億7,200万円 敷地面積 3,526㎡ 延床面積 9,270㎡ 駅前事務所、観光案内所が完成する。 総事業費 3,179万円 敷地面積 276.5㎡ 建築面積 89.5㎡(派出所を除く) 国際交流センターが開設される。 ふれあいセンター姫が完成する。 総事業費 5億2,693万円 敷地面積 2,557㎡ 延床面積 1,604㎡
1998	平成10年	テラホート市民代表団 多治見市訪問。 多治見工業高等学校 創立100周年。 情報公開条例が施行される。 国道248号線北バイパスが開通する。 平和・滝呂線（自転車歩行者道）が全線開通する。 コミュニティFM放送局が開局する。 環境基本条例が制定される。 国際陶磁器フェスティバル美濃'98が開催される。 市役所内でグループ制が導入される。 市営住宅「国京団地」の建て替えが完了する。
1999	平成11年	オリベストリーの第三セクター（株）華柳（はなやぎ）が設立される。 循環型社会システム構想が策定される。 陶都中学校校舎竣工。 鉄筋コンクリート造、4階建、延べ面積 6,956.86㎡ CATV「おりベネットワーク」が開局する。 「たじみ子ども議会」を開催する。
2000	平成12年	ごみ23分別による資源ごみ収集が市内全域で開始される。 岐阜総合体育大会（インターハイ）開催。 ボクシング、男子バレーボールの会場となる。 「たじみ女性議会」を開催する。 9月豪雨災害にみまわれる。床上浸水79棟、床下浸水52棟。

西暦	年 号	主 な で き ご と
2000	平成12年	情報センターが旧社会保険事務所2階にオープン。
2001	平成13年	第5次総合計画がスタート。(平成13年度～平成22年度) 製販一体型集客交流施設「たじみ創造館」がグランドオープン。 インディアナ州立大学音楽部による演奏会を開催する。 リモートセンシングシステム構築。 緊急告知情報システムが稼働開始する。 多治見中学校の新校舎が完成する。 延べ面積7,200㎡(環境との共生を目指すエコスクールとして、太陽光発電や屋上緑化を採用) TMO「多治見まちづくり株式会社」が設立される。
2002	平成14年	「たじみITタウンカード」を導入する。 東濃西部合併協議会が設置される。(事務局 セラトピア土岐) 多治見市・瑞浪市・土岐市・笠原町の三市一町で合併協議が始まる。 国際陶磁器フェスティバル美濃'02が開催される。 会期 10/12～11/4 入場者数 130,288人
2003	平成15年	多治見市市民活動交流支援センター(本町)オープン 99.67㎡(一階南部分)(相談窓口、作業・交流・会議スペース有り) 池田保育園 移転新築、公設民営化 敷地面積4,111㎡(地域子育て支援センター・宅老所を併設) 新焼却場本格稼働 ごみ分別変更 敷地面積 40,500㎡ 焼却場 連続焼却式焼却炉 85t/24h×2炉=170t/24h リサイクルプラザ 破碎ごみ・粗大ごみ 25t/5h 飲料缶 2t/5h コミュニティバスの実証実験(試験運転)始まる。 ほほえみ相談員を全小中学校に配置する。 永保寺 本堂焼失
2004	平成16年	多治見市をごみの散らばっていないきれいなまちにする条例が制定される。 「多治見市、瑞浪市、土岐市及び笠原町の合併に関する投票方式による住民意向調査」の結果、3市において「否」が多数を占める。この結果を受け、東濃西部合併協議会が廃止される。 自治体の環境施策を採点する「日本の環境首都コンテスト」(同コンテスト全国ネットワーク主催)で総合1位に選ばれる。 多治見駅北駅前広場オープン 面積3,800㎡ 笠原町からの合併協議の申し入れを受け、多治見市・笠原町合併協議会が設置される。合併の期日は、平成18年1月を目標とする。 環境省の「循環・共生・参加まちづくり表彰」で環境大臣表彰を受賞する。

西暦	年 号	主 な で き ご と
2005	平成17年	<p>多治見市男女共同参画推進条例が制定される。</p> <p>国際陶磁器フェスティバル美濃'05が開催される。</p> <p>会期 7/1～8/31 入場者数 191,685人</p> <p>愛知万博『愛・地球博』長久手会場にて「あっちっちサミット2005 in EXPO」開催 合併に伴う5次総基本計画の見直しが行われる。</p> <p>子ども情報センターオープン（図書館分館）</p> <p>国道248号線南バイパス一部供用開始</p>
2006	平成18年	<p>笠原町（13.45km²）と合併する。（1月23日）</p> <p>合併に伴う第5次総合計画の見直しを策定する。</p> <p>滝呂小学校新築移転</p> <p>鉄筋コンクリート造（一部木造）、延床面積 9,653.78m²</p> <p>笠原町でごみと資源の23分別がスタート</p> <p>国道248号線南バイパス供用開始</p> <p>市政基本条例が制定される。</p> <p>第2回「自治体の組織運営（ガバナンス）評価」で全国第4位になる。</p>
2007	平成19年	<p>8月16日、最高気温が40.9度を記録し、74年ぶりに観測史上最高気温を更新する。</p> <p>多治見市のマスコットキャラクター うながっぱが誕生する。</p> <p>市民参加条例、パブリック・コメント手続条例が制定される。</p> <p>多治見駅南北駅前広場やながせ商店街などを「美化推進重点地区」に指定する。</p> <p>多治見駅南北駅前広場を岐阜県で初めて路上禁煙地区に指定する。</p> <p>財務条例が制定される。</p> <p>本会議インターネット配信事業を開始する。</p>
2008	平成20年	<p>第6次総合計画がスタート（平成20年度～平成27年度）</p> <p>30人程度学級を中学3年生に導入する。</p> <p>国際陶磁器フェスティバル美濃'08が開催される。</p> <p>会期 8/1～9/30 入場者数 161,531人</p>
2009	平成21年	<p>新多治見駅舎、多治見駅南北連絡通路利用開始</p> <p>多治見駅観光案内所が南北連絡通路に開所される。</p> <p>第17回環境自治体会議たじみ会議を開催する。</p> <p>「Heart of Tajimi-たじみ市民討議会2009-」を（社）多治見青年会議所と協働で開催</p> <p>北栄小・北陵中隣接校対応調理場竣工</p> <p>市民投票条例が制定される。</p> <p>土岐川観察館が平和町に移転する。</p> <p>笠原地域子育て支援センターオープン</p>

西暦	年号	主なできごと
2010	平成22年	議会基本条例を制定する。(4月1日施行) 多治見市民病院を指定管理者に移行する。 笠原児童館オープン 多治見市新最終処分場が竣工する。 市制70周年記念式典 共栄調理場の業務の民間委託が開始される。 市内公共施設の敷地内禁煙スタート
2011	平成23年	東日本大震災が発生する。被災地へ災害支援隊を派遣する。 議会議員政治倫理条例を制定する。(4月1日施行) 南姫小学校体育館が完成する。 高機能消防指令システムを整備する。 国際陶磁器フェスティバル美濃'11が開催される。 会期 9/16～10/23 入場者数 172,056人 台風15号により甚大な被害を受ける。床上浸水163戸 第6次総合計画後期計画を策定する。(平成24年度～平成27年度)
2012	平成24年	災害時の相互応援に関する協定を足立区、河内長野市と締結する。 新公共施設予約システムが稼動する。 新市民病院が開院する。 第67回ぎふ清流国体が開催される。空手道、軟式野球の主会場となる。
2013	平成25年	根本交流センターが開所する。 池田小学校新校舎が竣工する。 四万十市が最高気温41℃を記録し、本市の記録40.9℃が更新される。 女性消防隊を発足する。 小名田調整排水池系排水管が竣工する。
2014	平成26年	孤立死ゼロ、虐待死ゼロのまち協力隊の協定を市内の事業所と締結する。 多治見市美濃焼を使おう条例を制定する。(8月1日施行) 国際陶磁器フェスティバル美濃'14が開催される。 会期 9/12～10/19 入場者数 184,874人 多治見駅北立体駐車場が竣工する。
2015	平成27年	多治見市役所駅北庁舎がオープンする。 駅北庁舎内に駅北親子ひろば(ぽかぽか広場)がオープンする。 駅周辺市街地整備事業に着手する。 ひと涼みアワード2015「トップランナー賞」を受賞する。
2016	平成28年	星ヶ台保育園が開園する。 新火葬場「華立やすらぎの杜」がオープンする。

西暦	年号	主なできごと
2016	平成28年	モザイクタイルミュージアムがオープンする。 虎渓用水広場が完成する。 多治見市議会が第11回マニフェスト大賞最優秀成果賞を受賞する。

2. 概要

位置	東経 137度 7分55秒 北緯 35度19分58秒 (岐阜市より東南東45km、名古屋市より北東36km)
海抜	94.96m
面積	91.25km ² (国土地理院調：平成28年10月1日時点)
人口	112,145人 (平成29年4月1日現在)
人口密度	1,229.0人/km ²
市制施行	昭和15年8月1日
市役所	多治見市日ノ出町2丁目15番地 電話(0572)22-1111(代)

3. 市域の変遷

	年月日	内容(増減面積)	総面積(km ²)
合併分離状況	昭和15年8月	市制施行(35.14km ²)	35.14
	昭和19年2月	合併(池田村・小泉村 23.58km ²)	58.72
	昭和26年3月	合併(市之倉村 5.70km ²)	64.42
	昭和26年4月	合併(笠原町 19.72km ²)	84.14
	昭和27年4月	笠原町設置により一部分離(△15.52km ²)	68.62
	昭和35年4月	合併(姫治村 11.42km ²)	80.04
	昭和40年10月	国土地理院面積調べによる変更(△2.18km ²)	77.86
	平成2年3月	国土地理院面積調べに基づき、多治見市、土岐市、笠原町の面積を按分(△0.17km ²)	77.69
	平成7年4月	国土地理院面積調べに基づき、多治見市、土岐市、笠原町の面積を按分(0.1km ²)	77.79
	平成18年1月	合併(笠原町 13.45km ²)	91.24
	平成27年3月	国土地理院面積調べによる変更(0.01km ²)	91.25

4. 市庁舎概要

本庁舎

・所在地	地	岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地
・面積	積	敷地面積 4,033m ² 建築面積 1,962m ² 延床面積 8,571m ²
・構造	造	鉄筋コンクリート造、地下1階、地上6階、塔屋1階
・工期	期	着工 昭和47年9月10日 竣工 昭和49年4月30日
・事業費	費	工事費 730,911千円 用地移転費 179,844千円 初度調弁費 36,447千円 設計監理・事務費 25,223千円 計 972,425千円
・設計監理	理	株式会社 三橋建築設計事務所
・施工者	者	建築主体工事 株式会社 大林組 空調給排水工事 株式会社 朝日工業社 電気設備工事 西山電気株式会社
・家具備品	品	特別室等 株式会社 名鉄百貨店・愛知株式会社 事務室等 三角堂事務機株式会社

駅北庁舎

・所在地	地	岐阜県多治見市音羽町1丁目71番地の1
・面積	積	敷地面積 3,553m ² 建築面積 2,324m ² 延床面積 9,729m ²
・構造	造	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、柱頭免震構造 地下1階、地上5階
・工期	期	着工 平成25年6月28日 竣工 平成26年11月25日
・事業費	費	工事費 2,111,000千円 用地費 505,000千円 設計・工事管理費 70,000千円 備品費 114,000千円 委託費 20,000千円 その他 205,000千円 計 3,025,000千円
・設計監理	理	久米・日比野設計共同体
・施工者	者	建築工事 大日本・飯田特定建設工事共同企業体 機械設備工事 東熱・日野吉特定建設工事共同企業体 電気設備工事 トーエネック・小境特定建設工事共同企業体
・付帯施設	設	駐車場60台（地上6台、地下54台）、駐輪場30台、エレベーター3基 （人用2基、人荷用1基）、エスカレーター2基、駐車管制システム 太陽光発電設備（10kw）、雨水利用設備（灌水用、トイレ洗浄用）

5. 人 口

(1) 総人口と世帯

(平成29. 4. 1 現在)

区分	総人口	住民基本台帳人口 人
男		54,531
女		57,614
合 計		112,145
世 帯 数		45,824

※平成24年7月から、外国人も住民基本台帳に記載されることとなった。

(2) 本籍及び本籍人口

(平成29. 4. 1 現在)

本 籍	44,825
本 籍 人 口	112,596

(3) 外国人住民国籍別人口

(平成29. 4. 1現在)

国籍別	韓国及び朝鮮	中国	フィリピン	ブラジル	ルーマニア	米 国	イ ン ド	カ ナ ダ	ベ ト ナ ム	タ イ	ト ル コ	イ ラ ン	ペ ル ー	マ レ ー シ ア	ド イ ツ	フ ラ ン ス	ウ ク ラ イ ナ	イ ン ド ネ シ ア
	530	485	165	56	6	17	5	6	141	33	2	1	18	3	1	1	1	37
国籍別	オーストラリア	アイルランド	ナイジェリア	ネパール	カンボジア	シンガポール	コロンビア	ミャンマー	ロシ ア	スリランカ	英 国	スウェーデン	南アフリカ共和国	カメルーン	アルゼンチン	セルビア・モンテネグロ	台 湾	ス ペ イ ン
	6	0	1	24	6	0	0	2	4	11	6	1	0	0	0	0	10	2
国籍別	パキスタン	メキシコ	ボリビア	バングラディシュ	ガ ー ナ	イ タ リ ア	ニュージーランド	エジプト	スロベニア	スロバキア	ケ ニ ア	モンゴル	オランダ	ベルギー	フィンランド	無 国 籍	合 計	
	5	1	0	0	3	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	1,598	

(4) 校區別世帯数・人口

(平成29. 4. 1現在)

校 区	世 帯 数	人 口		
		男	女	計
養 正	3, 736	4, 129	4, 456	8, 585
昭 和	3, 580	3, 770	4, 183	7, 953
精 華	5, 954	6, 860	7, 460	14, 320
共 栄	1, 720	2, 418	2, 448	4, 866
小 泉	4, 496	5, 669	5, 766	11, 435
根 本	4, 923	5, 788	6, 179	11, 967
北 栄	3, 951	4, 721	5, 048	9, 769
南 姫	2, 111	2, 463	2, 428	4, 891
池 田	2, 625	2, 954	3, 041	5, 995
滝 呂	3, 419	4, 566	4, 761	9, 327
市 之 倉	2, 653	3, 274	3, 374	6, 648
脇 之 島	2, 601	3, 071	3, 333	6, 404
笠 原	4, 055	4, 848	5, 137	9, 985
全 体	45, 824	54, 531	57, 614	112, 145

(5) 年次別人口の推移

(各年度：4. 1 現在)

年次	世帯数	人 口			面 積 km ²	人 口 密 度 人/km ²
		総 数	男	女		
昭和 20	6,966	32,739	15,626	17,113	58.72	558
25	7,964	38,476	18,962	19,514	58.72	655
30	9,781	47,405	23,396	24,009	68.62	691
35	11,410	53,791	26,188	27,603	80.04	672
40	13,238	59,858	29,299	30,559	80.04	748
45	15,644	63,320	31,130	32,190	77.86	813
50	19,235	68,499	33,739	34,760	77.86	880
55	20,875	73,907	36,394	37,513	77.86	949
60	24,255	84,758	41,580	43,178	77.86	1,089
平成 元	26,714	91,610	44,806	46,804	77.86	1,177
5	30,140	99,883	48,712	51,171	77.69	1,286
10	33,497	105,272	51,462	53,810	77.79	1,353
15	35,899	105,877	51,768	54,109	77.79	1,361
18	41,289	117,398	57,298	60,100	91.24	1,287
20	42,578	117,508	57,319	60,189	91.24	1,288
25	44,472	115,178	56,170	59,008	91.24	1,262

※平成18年以降は旧笠原町との合併後の数

(6) 年齢5歳階級人口


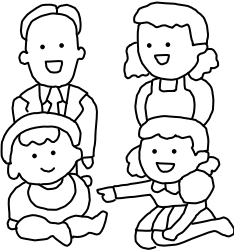
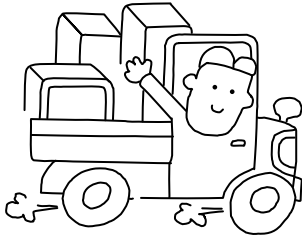
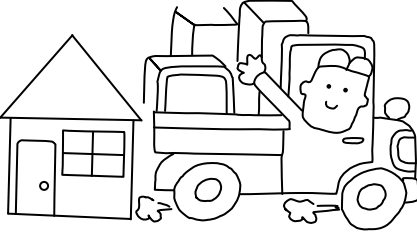


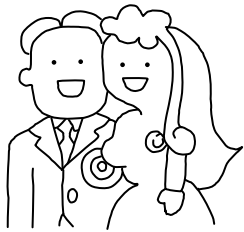
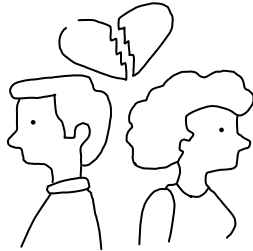
(平成29. 4. 1 現在)

区 分	男	女	計 (構成比)
90歳以上の人	368人	1,224人	1,592人 (1.4%)
85～89の人	939人	1,682人	2,621人 (2.3%)
80～84の人	1,830人	2,576人	4,406人 (3.9%)
75～79の人	2,898人	3,255人	6,153人 (5.5%)
70～74の人	3,438人	3,813人	7,251人 (6.5%)
65～69の人	4,822人	5,172人	9,994人 (8.9%)
60～64の人	3,696人	3,866人	7,562人 (6.7%)
55～59の人	3,452人	3,772人	7,224人 (6.4%)
50～54の人	3,675人	3,697人	7,372人 (6.6%)
45～49の人	4,106人	4,102人	8,208人 (7.3%)
40～44の人	4,075人	3,839人	7,914人 (7.1%)
35～39の人	3,252人	3,167人	6,419人 (5.7%)
30～34の人	2,884人	2,792人	5,676人 (5.1%)
25～29の人	2,539人	2,563人	5,102人 (4.5%)
20～24の人	2,806人	2,755人	5,561人 (5.0%)
15～19の人	2,756人	2,721人	5,477人 (4.9%)
10～14の人	2,590人	2,350人	4,940人 (4.4%)
5～9の人	2,421人	2,287人	4,708人 (4.2%)
0～4の人	1,984人	1,981人	3,965人 (3.5%)

◎最高年齢 男 103歳 女 105歳

(7) 多治見市の1日人口統計

平成28年度中の人口統計から1日をまとめました。

<p>● 人口密度</p> 	<p>● 世帯人口</p> 
<p>1平方キロ当たり 1,229 人 (1,237人)</p>	<p>1世帯当たり 2.45 人 (2.48 人)</p>
<p>● 転 入</p> 	<p>● 転 出</p> 
<p>1日に 9.1人 (9.2 人)</p>	<p>1日に 10.0人 (10.2 人)</p>
<p>● 出 生</p> 	<p>● 死 亡</p> 
<p>1日に 2.0 人 (2.0人)</p>	<p>1日に 2.9人 (3.0 人)</p>
<p>● 結 婚</p> 	<p>● 離 婚</p> 
<p>1日に 1.8 組 (1.8 組)</p>	<p>1日に 0.5 組 (0.4 組)</p>

※異動は住民基本台帳関係です。なお、()内は前年度の数字です。

(8) 国勢調査結果

① 人口・世帯の推移

単位：世帯・人

区 分	世 帯 数	人 口			平均世帯人員	人 口 密 度 人／km ²
		総 数	男	女		
昭和60年	23,797	84,829	41,451	43,378	3.56	1,089.5
平成2年	27,103	94,036	45,673	48,363	3.47	1,210.4
7年	30,711	101,270	49,126	52,144	3.30	1,301.8
12年	33,428	104,135	50,498	53,637	3.12	1,338.7
17年	39,068	114,876	55,642	59,234	2.94	1,259.0
22年	40,200	112,595	54,342	58,253	2.80	1,234.1
27年	41,446	110,441	53,378	57,063	2.66	1,210.3

※平成17年は旧笠原町を含んだ数

※平成18年1月 旧笠原町と合併